

「岩手ようごの会」 第12回実践交流会のご案内&第11回の報告



平成29年8月25日

岩手ようごの会 代表 堀籠ちづ子

夏季休業が明け、健康診断事後措置、保健指導、健康相談、そして学校行事等に取り組む毎日かと思えます。さて、本会では第12回実践交流会を開催いたします。今回は、校種、経験年数を問わずに学びのニーズが高い、救急処置・危機管理に関するテーマで開催します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

.....第12回 実践交流会のご案内.....

テーマ 「いつでも、どんなときも、教職員みなで対応する救急処置・救命」
ー速やかに適切な対応ができる校内研修について考えてみませんかー

* 日時：平成29年9月30日(土) 10:00~12:30 * 場所：アイーナ6F 団体活動室 3

9月1日は防災の日、皆さんの学校では事故発生や自然災害時に、いつでも、どんなときも、誰でも危機に対応する準備は万全でしょうか？

今回は、「教職員みなで対応する救急処置・救命」について、速やかに適切な対応ができるための校内研修や救急体制の周知・理解等について考えていきたいと思えます。

具体的には、事故を想定してシミュレーションを取り入れた校内研修、機能する救急体制、子どもを含めた救急救命の実際的な学習について実践報告をお聞きし、皆さんで実践交流を深めていきたいと思えます。

ご参加の際に、校内研修会の実施や学校救急体制図、教職員向けに提示する事故対応と救急処置等についての資料等を提供いただける方は30部程ご持参お願いします。ご自身の学校における課題があればお持ちください。

***お申し込みは不要です。直接、会場にお越しください。**

第11回実践交流会の報告

第11回のテーマは、「定期健康診断 事前指導、どうしていますか」として、交流の柱を、①子ども自身が健康状態を認識し健康に対する関心を高める指導、②健診の意義を理解してスムーズに行う事前指導の2つの側面について、実施状況とその困難点・課題、進め方等、校種毎に実践交流を行いました。今回は、新採用の方などフレッシュな方々に参加いただき班別交流が盛り上がりしました。

アンケートからは、様々な実践を知ることが出来た。自身の課題に気づく機会となった。学校では一人職なので、参加してみて不足な部分と良点に気づき自信にもつながった等の感想をいただきました。

<実践交流会の様子>

【実践紹介】

★一関市立舞川中学校 西川恵子先生

★岩手県立釜石高等学校 佐倉のぞみ先生

2名の先生方からは、「定期健康診断の事前指導 私の実践と工夫」について、健康診断の実施の流れに沿い、計画、事前指導、教職員との連絡調整、保護者の理解と協力、学校医、検診機関との連携、保健だより等、その実践と留意点、課題について紹介をいただきました。西川先生は、事前指導を含めて健康診断の流れを整理して計画的に実施し、教職員、保護者などとの連携を細やかに実践されていました。佐倉先生は新採用3年目、生徒保健委員会を指導してHRにおいて事前指導の実施、健診結果の翌日通知などの実践を紹介いただきました。そして、お二人の先生に対して、担任に解り易く伝える工夫や普段からの関係づくりが素晴らしいと感想をいただきました。

<実践交流とシェアリングの紹介・・抜粋>

❖事前指導の時間確保が困難である。健康診断を円滑に実施する事前指導で精一杯である。この2点は参加者の多くから出された。❖スムーズに行う事ばかりに着目して指導をしていた。健康診断の意義に立ち返りたい。❖発達課題に応じた事前指導が必要である。❖小学校低学年は養護教諭が直接指導できるのではないかと。掲示物を始め工夫が必要。❖目的・意義はポイントを絞り、円滑な実施を指導する際に併せ可能である。HR指導ばかりでなく事前の保健調査の実施時など機会は探すところ。等❖まとめ：本日を振り返り、あらためて健康診断は、養護教諭一人で実施するものではないこと、そして、学校行事として教職員全体で行うには計画が9割と言える。普段から教職員、学校医とやり取りを密にしておくことが大事ではないか。そして、健康診断事前指導には2つの側面があるので両者の指導ができるように計画したい。さらに、事前指導含めて計画から実施、事後措置まできちんと記録を取って評価し、次年度の計画を立てて翌年に臨むサイクルが大事である。